



発行 自衛隊札幌病院 豊友会事務局

第60号 平成29年8月

日増しに秋の訪れを感じる今日この頃ですが、皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしのことと存じます。

自衛隊札幌病院は、今年無事に創立六十二年を迎えています。これまで、あらゆる事態に即応性・実効性を堅持し、北部方面隊の隊員及び家族の診療・健康管理を実施するとともに、衛生科部隊等に教育支援を行い、さらに保険医療機関として救急医療等を通じて地域医療にも参画しています。これは一重に、各部隊や地域住民の皆様並びに諸先輩方のご支援・ご協力の賜物であり、勤務員のたゆまぬ努力の積み重ねによるものです。

さて、自衛隊を取り巻く環境は一段と厳しさを増しつつありますが、田浦新北部方面総監は、「北部方面隊は、北海道の防衛・警備、災害派遣等を任務の基本とし、国内における防衛・警備、災害派遣等に際しては、陸上自衛隊最大の勢力として他方面隊を増援するとともに、国外における国際平和協力活動等に関しては部隊の派遣を期待される、戦略的に運用される陸上自衛隊の「最後の砦」とも言える役割を担っている」との認識を示しています。そして「最も強く最も頼もしい北部方面隊」であり続けるため、「変えるべきは変え、守るべきは守る」ことが必要との考えのもと、「よく考えて、前へ！」を要望事項としています。

当院は、この「最も強く最も頼もしい北部方面隊」を支える医療支援を確実に実施するとともに、北部方面隊における衛生科の最大・最高の専門家集団として、事態対処時の衛生科運用構想の構築に加わり、衛生支援全体を牽引する役割も求められています。このため、本年9月に行われる北部方面隊総合戦術力演習に参加し、治療・後送に更なる迅速性と実効性の向上を図ることになります。そして、今年度の北部防衛衛生学会では、学会のテーマを「北部方面隊の衛生運用を考える―事態対処―」とし、岩田元陸上幕僚長の講演やシンポジウムを開催して「事態対処における衛生支援」をスパイラルに高めていきたいと考えています。

また、昨年度の北部防衛衛生学会では「札幌直下地震への対応」を様々な視点から検討しましたが、この成果を、本年10月に予定される、北海道と札幌市が共催し、北部方面隊が参加する「札幌直下地震対処訓練」において、「一人でも多くの方を助ける」ために、反映することに前へ！」を実践してまいります。



「備えに万全を」 自衛隊札幌病院長 陸将 上部 泰秀

残暑、お見舞い申し上げます。

皆様よくご存じの通り、1992年6月15日に国連平和維持活動（PKO）協力が成立してから25年を迎えました。8地域・計9件に延べ1万1500人の自衛隊員が派遣されました。先進国の中でも、陸自施設部隊は道路補修や用地造成など優れた能力を持っていると定評があります。

PKOは、日本の国際貢献の柱に成長する一方、自衛隊を巡る環境も大きく変わってきました。

そんな中、今年3月、政府は活動に「一区切り」がついたとして撤収を発表しました。

自衛隊の部隊派遣が途切れた今、日本はどのようにPKOに関わっていくのでしょうか。

さて、災害派遣における支援活動が当然のように任務として付与されている現在の自衛隊衛生は、以前とは比較にならないほど多様で重要な役割を担っていると思います。

そして、豊友会会員の皆が共に働き、退官・退職後はOBとして応援している札幌病院も、役割と活動が様変わりして、隊員の健康管理のみならず、地域医療の担い手・PKOへの派遣・災害派遣及び被災者受け入れ病院・国防における拠点病院としての役割が改めて問われ、その期待も大きくなってきています。

おのずと豊友会も、このような状況下においては、単なるOB会組織にとどまらず、支援団体として積極的に役割を果たしていくことが肝心だと思っています。

そのためには、常に札幌病院と連携を取り、情報を共有し、そして、会員の「志（こころざし）」をひとつにしていく必要があります。

今こそ、会員一人ひとりの率直な意見や希望・要求を豊友会事務局に進んで聞かせて頂きたいのです。

皆様、よろしくお願い申し上げます。



「豊友会会長の挨拶」 自衛隊札幌病院豊友会 会長 古家隆司

《人事異動等》

自衛隊札幌病院

H29春の異動「転入者」

転入先	階級等	氏名	元勤務
診療科	1佐	岩本 慎一郎	第101対特殊武器治療隊
診療科	2佐	香川 智正	自衛隊中央病院
診療科	2空佐	濱田 耕司	第2航空団
総務部	3佐	菅原 毅	北部方面衛生隊
衛資部	3佐	内藤 佳世	自衛隊中央病院
看護部	3佐	寺内 千佳子	自衛隊中央病院
衛資部	3佐	和田 典子	自衛隊阪神病院
診療科	3佐	佐藤 大介	滝川駐屯地業務隊
総務部	1尉	奥山 孝広	第7後方支援連隊
看護部	1尉	村上 芳美	俱知安駐屯地業務隊
総務部	1尉	渋谷 陽子	自衛隊中央病院
総務部	2尉	赤坂 智志	真駒内駐屯地業務隊
看護部	2尉	山本 貴明	第7後方支援連隊
診療科	2尉	長原 純一	俱知安駐屯地業務隊
看護部	2尉	竹林 彩	自衛隊中央病院
企画室	2尉	佐々木 勝利	遠軽駐屯地業務隊
総務部	准尉	淵上 紀久	幌別駐屯地業務隊
診技部	准尉	小川 徹也	岩見沢駐屯地業務隊

H29夏の異動「転入者」

転入先	階級等	氏名	元勤務
副院長	将補	森 知久	陸上幕僚監部
診療科	1佐	吉積 司	西部方面総監部
看護部	2佐	櫻井 尚美	陸上幕僚監部
企画室	3佐	齋藤 裕	衛生学校
医安全	1尉	坪 佳子	真駒内駐屯地業務隊
総務部	1尉	縄野 和美	第2師団司令部
総務部	1尉	酒井 秀樹	第2師団司令部
看護部	1尉	小田 智美	北部方面総監部
看護部	1尉	山根 彰子	北部方面衛生隊
診療科	1尉	原田 学	衛生学校付
診療科	1尉	福富 翼	衛生学校付
診療科	1尉	南方 瑞穂	中央病院付
診療科	1尉	本田 護	衛生学校付
診療科	1尉	高島 健一	衛生学校付
診療科	1尉	溝口 明範	衛生学校付
診療科	1尉	遠藤 康弘	衛生学校付
衛材部	1尉	齋藤 育子	対特殊武器衛生隊
診療科	1尉	今野 光彦	中央病院
総務部	2尉	武田 仁	第5旅団司令部

H28冬の異動「転入者」(抜粋)

転入先	階級等	氏名	元勤務
診療科	1佐	相羽 寿史	自衛隊中央病院
診療科	2佐	石倉 成時	関西補給処

H29春の異動「転出者」

転出先	階級等	氏名	元勤務
総務部	曹長	小西 哲生	札幌地方協力本部
診技部	曹長	田口 靖	北部方面衛生隊
看護部	1曹	阿部 光義	第18普通科連隊
診技部	1曹	岡元 勇志	施設学校
総務部	2曹	中村 直樹	北部方面会計隊
診技部	2曹	齋藤 吉弘	第4高射特科群
准看学	2曹	福岡 敬介	北部方面衛生隊
診技部	2曹	西村 豊	第7後方支援連隊

H29夏の異動「転出者」

転出先	階級等	氏名	元勤務
看護部	2尉	高橋 里奈	第7後方支援連隊
看護部	2尉	岡田 いづみ	第2後方支援連隊
診療科	2尉	浅野 篤	衛生学校付
診療科	2尉	野村 達也	衛生学校付
診療科	2尉	長谷川 裕香	衛生学校付
診療科	2尉	高城 大治	衛生学校付
総務部	曹長	平原 由幸	第11高射特科中隊
総務部	曹長	向江 敏也	北部方面総監部付隊
看護部	曹長	野口 莉紗	衛生学校付
診技部	1曹	吉田 浩	真駒内駐屯地業務隊
衛材部	1曹	石田 裕俊	第11旅団司令部付隊
総務部	1曹	吉田 純一	第73戦車連隊
総務部	1曹	牧岡 孝昌	北部方面後方支援隊
衛材部	1曹	安達 孝司	北海道補給処
診技部	2曹	上小鶴 貴	第11普通科連隊

H28冬の異動「転出者」(抜粋)

転出先	階級等	氏名	元勤務
診療科	1佐	山田 幸治	自衛隊中央病院
診療科	2佐	小川 和明	衛生学校

所属	階級等	氏名	転出先
診療科	2佐	福井 靖	座間駐屯地業務隊
診療科	2佐	平沢 宏太	丘珠駐屯地業務隊
衛資部	3佐	谷釜 彰子	自衛隊中央病院
総務部	3佐	藤田 牧子	衛生学校(FOC学生)
准看学	3佐	阿南 恵子	自衛隊中央病院
総務部	1尉	村田 康輔	北恵庭駐屯地業務隊
診療科	2尉	田村 肇	俱知安駐屯地業務隊
看護部	2尉	戸越 夕里奈	自衛隊中央病院
看護部	2尉	伊澤 美沙	自衛隊阪神病院付
企画室	3尉	八田井 英樹	北部方面衛生隊
看護部	3尉	澤島 舞	第7後方支援連隊
総務部	准尉	落石 明	北部方面会計隊
診技部	1曹	半田 良也	西部方面衛生隊
看護部	1曹	田中 淳一	北部方面衛生隊
診技部	1曹	能村 寿美	鹿追駐屯地業務隊
診技部	1曹	青木 司	第10普通科連隊
准看学	1曹	橘井 政和	北部方面衛生隊
総務部	2曹	石橋 毅	北海道補給処

所属	階級等	氏名	転出先
診療科	1佐	近藤 伸彦	北部方面総監部
看護部	2佐	佐藤 保子	自衛隊熊本病院
企画室	2佐	中田 浩嗣	補給統制本部
衛材部	3佐	小山 知徳	自衛隊中央病院
看護部	1尉	松本 容子	真駒内駐屯地業務隊
看護部	1尉	清水 由美	北部方面総監部
看護部	1尉	高橋 いづみ	第2師団司令部
総務部	1尉	内山 循田	北部方面総監部
看護部	1尉	高橋 ほづき	自衛隊中央病院
診療科	1尉	森田 亘	衛生学校付
診療科	1尉	桑原 美佳	衛生学校付
診療科	1尉	上西 寛途	衛生学校付
看護部	2尉	赤松 一紀	北部方面衛生隊
看護部	3尉	飯島 瑞子	第7後方支援連隊
看護部	3尉	奥山 梨紗	第2後方支援連隊
総務部	曹長	濱谷 親弘	第11特科隊
診技部	曹長	松本 康博	防衛大学校
衛材部	曹長	中島 和彦	北海道補給処
総務部	1曹	伊藤 孝則	第7飛行隊
総務部	2曹	藤田 洋介	第11師団司令部付隊

《着任副院長・部長紹介》

副院長 兼 企画室長 (29.8.1付)



このたび着任いたしました森将補です。若輩者ではございますが、上部病院長が目指す札幌病院造りに微力ながら全力を傾注して参る所存ですので、なにとぞ倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

将補 森 知久

外科部長 兼 前任診療科部長 (29.8.1付)



8月に西部方面総監部医務官より札幌病院に着任いたしました。北海道での勤務は初めてですが、「患者中心の医療」を提供できるように関係部署と連携し、診療に従事してまいります。宜しくお願い申し上げます。

1佐 吉積 司

歯科部長 (28.12.20付)



昨年末50年ぶりの大雪のなか自隊札幌病院に着任しました。出身は富士山の麓にある静岡県富士市です。北海道での勤務は第7後方支援隊衛生隊以来15年ぶりとなります。日本歯周病学会認定歯周病専門医として病院へ受診される方々の財産である歯を1本でも多く残せるよう診療に従事していきたいと思っております。

1佐 相羽 寿史

救急科部長 兼 准看護学院長 (29.3.23付)



前任地: 対特殊武器衛生隊(朝霞) 救急科新設後、はじめて専従の救急科専門医として補職されました。各診療科・関連部署と連携し、当院の救急医療態勢の整備を進めてまいります。

1佐 岩本慎一郎

《訓練紹介》

感染症対処基幹要員養成訓練

4月27日(木)・28日(金)に実施した感染症対処基幹要員養成訓練を紹介する。

本訓練は、各課等の要員に対しPPE(personal protective equipment: 個人用防護具)の着脱要領を演練し今後の普及に資するもので、新型インフルエンザ等の強毒性感染症患者発生下における診療等業務はもとより、高病原性鳥インフルエンザ発生時の家禽に対する防疫業務における感染防護支援の適切な実施を企図するものである。

参加者は、PPE着脱時における手袋に塗布した模擬汚染物質(蛍光塗料)の身体への付着の有無による汚染確認及び噴霧甘味物質の感知によるマスク密着性の確認で、PPE及びN95マスクそれぞれの正しい装脱着について訓練成果を評価し、今後の資とした。



PPE着脱状況を相互に確認



フィットテストによるN95マスクの密着性確認

近況報告「自衛隊衛生の素晴らしさ」

小林秀紀(会員 東京都)

この4月の中旬に、自民党の朝食勉強会で、自衛隊衛生の内容を国会議員の先生方にお話してきました。これは上部院長のご紹介で、イラク派遣隊の一次隊隊長であった佐藤正久参議院議員からの要請にお答えしたものです。ちょうど今勤務している紀尾井町のクリニックから永田町自民党本部までは歩いて10分ぐらいの距離なので都合よく、自衛隊衛生の実績、現在の訓練と将来構想などを、過去のルワンダ医療支援、イラク医療支援などの具体例を示しながら説明しました。派遣時の編成次第で、衛生部隊の実力が発揮されるか、または不完全燃焼で世間からの目が(とくにマスコミからの批判が)厳しくなるのが誘導されてくるので、十分な規模の編成をしていただきたい旨をお話してきましたが、隊員個別の実力については「高いレベルである」と断言してきました。

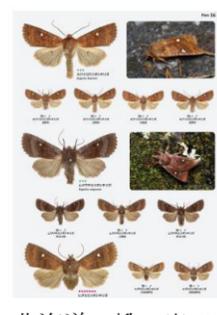
この勉強会にご出席の20~30人の議員先生方の中では自衛隊衛生が積極的に支持されてきていることを感じました。退官してから6年となりますがこういう話ができるのも、北部方面隊での経験と陸幕での経験が役に立っているわけです。私の自衛隊衛生科隊員としての原点は北部方面隊ですので、私を育ててくれた北部方面隊の衛生科隊員に私は感謝の気持ちを忘れたことはありません。また、陸幕では歴代衛生部長会議というものがありまして、最新の情報に触れる機会がありますのでこれらを参考に、現役の皆様の奮闘を少しは外部に宣伝できたのではないかとおもいます。

さて、そういう次第ですが、退官後の私の日常はというと、外来で癌患者の免疫治療の相談相手をのんびり行っていると同時に趣味の蛾の研究にひたっています。

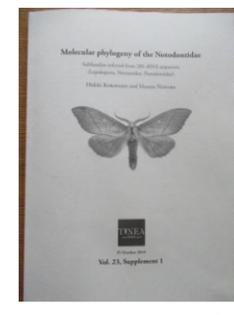
去年は「日本の冬夜蛾」という図鑑を出しました。これには、私の札幌、熊本時代の採集品も載っています。また、退官後東大の免疫進化研究室に通っていたのですが、私は実は蛾の研究をやっていました。その成果が一本の論文にまとまり昨年出版されました。これはDNAによる蛾の系統進化の分析ですが、結構その世界では高い評価を受けています。採集旅行にはニューギニア、ボルネオ、セレベスなど南方から雲南・四川、また南米フレンチギアナなどに出かけています。もう日本ではほとんど採集らしい採集はしないで、山に行ってもビールが主体です。札幌へは毎冬スキー・ビール園に行っていますが、豊友会にはちょうど採集に重なってなかなかいけません。いずれ機会があることを願っています。



「日本の冬夜蛾」の表紙



北海道の蛾の出ている1ページ



DNA論文の表紙



私の発見した新種の一つ (スラウェシ島、インドネシア)



平岸スナックス解散式 (自衛隊札幌病院野球部)

平岸スナックス(自衛隊札幌病院野球部)は旧豊平駐屯地グラウンドを練習場として昭和40年後半から平成29年まで、長期にわたり活動してまいりましたが、札幌病院の豊平駐屯地から真駒内駐屯地への移転に伴う練習場所等の確保に苦慮し、併せて近年の野球人口の減少等の諸事情により、本年9月16日に実施される札幌市官公立病院野球大会参加を最後に解散することになりました。

これに先立ち、8月26日(土曜日)野球部OBと現職等の親善試合と懇親会(解散式)を実施し永年の活動の終了をOB各位にご報告申し上げました。

全国・全道にいらっしゃいますスナックスOBの皆さん、そして、応援をいただいた皆様、本当にありがとうございました。「平岸スナックスは永遠に不滅です!!」

文責: 会員 松倉富士人(南区)

参加最年長 元院長: 桂田先生



〈会員からのお便り〉

会員 上川敏春(大阪府)

拝 啓

夏になり当地では暑い日が続いております。札幌が懐かしいです。豊友会(地区病院)には故:中野武次院長と同期で入隊しましたが、地区病院は36年転勤でお世話になり、あの当時は私の人生で最高の時代でした。上司、同僚に恵まれて思い出多い時代でした。この度は米寿のお祝いを御恵送下さいましてありがとうございました。会の益々の御発展を祈念いたします。有り難う御座いました。

敬 具
29.7.4

平成29年SHGC開幕

平成29年の第一回SHGCが4月23日日曜日に26名の参加を得て、また、晴天にも恵まれ開催されました。

田付会長の開会挨拶の後、プレーが開始され、和気あいあいの中で真剣なプレーが行われました。大会後、コンパームで表彰式が行われました。

結果は、優勝は原恵美様、準優勝が町田陽信でした。

どなたでも参加できますので、皆様の振るってのご参加をお待ちしています。

文責 会員 町田陽信 (南区)



※備考

- 1 HSGCは、昭和47年から活動しています。
2 4月から10月まで月1回開催されています。(年7回)
3 お問い合わせは、会員 川崎一人(豊平区)まで

料理クラブ(レシピ紹介)

会員 大久保敬子(南区)

なめらか白玉の抹茶ソースがけ

- (材 料) 2個分
絹ごし豆腐・・・1/2丁(約150g)
白玉粉・・・1カップ
水・・・1カップ

- 抹茶・・・小さじ2
水・・・小さじ2
練乳・100ml
あんこ(お好みで)



(作り方)

- ① ボールに白玉粉と豆腐の2/3量を入れる。豆腐をつぶしながら粉となじませるようにし、まんべんなく混ぜる。
② 生地を約大さじ1ずつちぎり丸く形を整え並べる。
③ 鍋で熱湯を沸かし生地を全て入れる。
④ 網じゃくしで団子やすく、冷水に取る。
⑤ 抹茶を水で溶き、練乳を混ぜてソースを作る。
⑥ 器に④を盛り、⑤をかけてあんこをお好みで添える。

さば味噌と野菜のカレー仕立て

- (材 料)
玉ねぎ・・・1個 カレー粉・大さじ1~2
人参・・・1/2本 日本酒・・・大さじ1
ミニトマト・1パック サラダ油・適量
サバ味噌缶・1個

(作り方)

- ① 野菜は食べやすい大きさに適当に切る。
② フライパンにサラダ油を熱し①を炒め、サバ缶とカレー粉・酒を入れて混ぜ入れる。



Memo :



サバ缶にカレー粉、お酒を入れて混ぜただけでも美味しいです。

〈豊友会事務局便り〉

- 1 事務局長挨拶
豊友会会員の皆様には御健勝で過ごされていることとお喜び申し上げます。今年北海道は珍しく猛暑に襲われ、気候変動を昨年に続き実感することとなりました。今年度は豊友会として、昨年度に引き続き事業の継続を図っております。今年度も会員のためになるような事業内容を継続できるように計画・実行を図って参りますので今後とも宜しくお願いします。

- 平成28年度北部防衛衛生学会懇親会支援を実施(平成29年3月1日)
平成29年6月には豊友会主催で自衛隊札幌病院と豊友会の懇親会を盛大に開催することが出来たことを会員の皆様に感謝申し上げます。

2 平成29年度定期総会・役員会等

(1) 平成29年度役員会

平成29年4月15日(土)16名の役員の参加を得て自衛隊札幌病院会議室において、平成29年度豊友会役員会を開催し、例年どおり前年度事業報告・収支決算報告及び今年度の事業計画・予算計画の審議の他、会則の一部改正の提示及びアンケート結果について審議しました。

(2) 平成29年度定期総会

- ア 日時:平成29年6月24日(土)1700~
イ 場所:ホテルライフオーソ札幌
ウ 4月実施の役員会報告(要旨)

- ・前年度事業報告・収支決算報告及び監査報告、29年度の事業計画・予算計画
・アンケート結果報告として、長寿の記念品は、「可能な限り本人の希望」を取り、会誌発行は広報の観点から「現状の年2回」会員名簿は個人情報保護の観点から「現状のまま」とする。
・会則改正について、「役員任期は会長職を除き3年とする。ただし再任を妨げないが最長6年とする。」

(3) 平成29年度自衛隊札幌病院及び豊友会合同懇親会の実施

- ア 日時:平成29年6月24日(土)1910~
イ 場所:ホテルライフオーソ札幌
ウ 叙勲・長寿者等への記念品の贈呈

(ア) 叙勲受章者への記念品贈呈

古家隆司様(瑞宝小受章)、船戸美和子様(瑞宝単光章)
新年会時贈呈予定者:築川紀恵子様(瑞宝双光章)

(イ) 長寿者への記念品贈呈

米寿者:上川敏晴様、八木三郎様(記念品を自宅へ送付)
傘寿者:小原秀正様、斉藤修悦様(新年会時贈呈予定)

エ 懇親会に先がけて講演会の実施:1800~

「トランプ政権の誕生と中東世界の实情(激動のトルコ)」
経団連21世紀政策研究所ビジテングアナリスト 佐々木良昭殿

3 平成30年予定

- (1) 新年会:時期:平成30年1月13日(土)予定 1800~
場所:ホテルライフオーソ札幌

(2) 役員会

- ア 前期役員会:4月実施予定
イ 後期役員会:10月実施予定

(3) 豊友新聞の発行:年2回(9月・1月発行)

改正事項が有れば併せて配布資料発送

(4) 平成29年度豊友会入会者(平成29年2月1日~現時点)

岩崎誠様(医官)、中島弘子様(事務官)、添田裕之様(薬剤官)、原時成様(事務官)、奥山裕美様(看護官)、大家洋介様(薬剤官)、石田義博様(他職種)、奥山孝広様(衛生官)状況

(5) 平成30年長寿者記念品贈呈予定者(平成30年6月予定)

傘寿者:上田保様、熊倉孝雄様、花本義喜様、山本哲三様(以上4名)
米寿者:浦田當子様、戸設武吉郎様、佐伯宮彦様、高松光二様(以上4名)

4 会員及び旧会員の訃報について

- ・加藤三雄様が入院加療中のところ平成29年4月3日67歳で永眠されました。
・油田愷性様(旧会員)が平成28年1月24日97歳で永眠されましたと佐久間氏から連絡を受け報告を受けました。御両名に対し心より御冥福申し上げます。



北部防衛衛生学会懇親会支援



平成29年度豊友会定期総会



講演会の状況

